



## 『モバイルノートパソコン 満足度調査』 「Let'snote Wシリーズ」が満足度トップ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野 潔)のリーサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」は、『モバイルノートパソコン ユーザー満足度調査』を実施し、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

製品を実際に使用した際、その使用感が期待どおりだったときの「満足感」、あるいは期待以下だったときの「がっかり感」について、詳細なアンケートを実施いたしました。今回調査した「モバイルノートパソコン」(画面サイズ11.1型～13.3型)は、大半のシリーズがDVDドライブを内蔵し、一般的な使用に十分なスペックを備えつつもモバイルでの利用が可能で、オフィスや家庭内、時には外出先でも広く使われるクラスです。

### 【1】総合満足度はパナソニックの「Let'snote Wシリーズ」がトップ

#### シリーズ別総合満足度トップ5ランキング

順位	シリーズ名	メーカー名	総合満足度 (購入後)
1	Let'snote Wシリーズ	パナソニック	50.0ポイント
2	ThinkPad Xシリーズ	レノボ・ジャパン	46.5ポイント
3	FMV-BIBLO MGシリーズ	富士通	36.0ポイント
4	dynabook SS RXシリーズ	東芝	33.5ポイント
5	VAIO type Sシリーズ	ソニー	28.0ポイント

首位はパナソニックの「Let'snote Wシリーズ」(CF-W8、CF-W7など)。購入決定時の満足度は57.5ポイント、購入後も50.0ポイントで、どちらも他の4シリーズを上回った。

### 【2】バッテリー駆動時間の満足度でもLet'snote Wが独走

モバイルノートにとって最も重要なバッテリー駆動時間では、他機種が0ポイントかそれ以下というやや厳しい評価であるのに対して、57.0ポイントと「Let'snote W」が非常に高い満足度を得ている。

### 【3】CPUやチップセット、HDDからの発熱は大きな問題

今回上位にランキングされた5シリーズのすべてにおいて、個別のコメントで発熱についての言及が多く、また満足度も総じて低い結果となった。製品購入時のポイントとなるだろう。

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL:03-6866-7338)

なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー総研調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

# 『モバイルノートパソコン ユーザー満足度調査』

株式会社アスキー・メディアワークス  
アスキー総合研究所

## 調査概要

- (1) 調査期間：2008年11月10日(月)～11月17日(月)
- (2) 調査方法：Webアンケート
- (3) 調査対象：アスキー総研アンケートモニター  
(週刊アスキー、アスキー・ドットPC、ビジネスアスキー、マックピープル各誌読者など)
- (4) 有効サンプル数：1585件
- (5) 対象ノートパソコン：Windows搭載のモバイルノートパソコン(画面サイズ11.1～13.3型)
- (6) 満足度とは：アンケートでは、各製品の個別の機能および製品全体について、購入決定時と購入後それぞれの評価を「とても良い」「良い」「ふつう」「悪い」「とても悪い」で表してもらい、順に100ポイント、50ポイント、0ポイント、マイナス50ポイント、マイナス100ポイントと数値化して集計した。また、購入後の全体的な満足度をその製品の総合満足度とした。

メーカー別総合満足度(各シリーズの総合満足度をメーカー別に集計)

## 首位はパナソニック、僅差でレノボ・ジャパンが続く

### 総合満足度トップ5メーカー別ランキング

順位	メーカー名	満足度(購入後)
1	パナソニック	49.0ポイント
2	レノボ・ジャパン	46.5ポイント
3	富士通	35.0ポイント
4	東芝	31.5ポイント
5	ソニー	31.0ポイント

パナソニックはシリーズ別トップの「Let'snote W」のほか、光ドライブを搭載しない代わりにWより約70g軽量な「Let'snote T」も、サンプル数は少なかったが高満足度を得ていて、メーカー別でもトップとなった。なお、これもサンプル数が少なかったためにシリーズ別のランキングからは外れたが、例えばソニーの「VAIO type Z」は極めて高い満足度を得るなど、メーカー別のランキングと個々の製品の満足度とは必ずしも一致しない。

項目別満足度(総合満足度上位5シリーズの、主要な項目別の購入後満足度ランキング)

### 操作性(キーボード・ポインティングデバイス)

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度(購入後)
1	レノボ	ThinkPad Xシリーズ	53.5ポイント
2	パナソニック	Let'snote Wシリーズ	25.8ポイント
2	ソニー	VAIO type Sシリーズ	25.8ポイント
4	富士通	FMV-BIBLO MGシリーズ	4.3ポイント
5	東芝	dynabook SS RXシリーズ	-1.8ポイント

キーボードの打ちやすさや、独自のポインティングデバイス(トラックポイント)に定評のある「ThinkPad Xシリーズ」が、2位以下の倍以上の満足度を得た。

### バッテリー駆動時間

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度(購入後)
1	パナソニック	Let'snote Wシリーズ	57.0ポイント
2	東芝	dynabook SS RXシリーズ	0.0ポイント
3	レノボ	ThinkPad Xシリーズ	-2.0ポイント
4	富士通	FMV-BIBLO MGシリーズ	-14.5ポイント
5	ソニー	VAIO type Sシリーズ	-25.0ポイント

カタログ値で約11時間駆動(CF-W8)の「Let'snote Wシリーズ」が、カタログ値で12.5時間駆動(SS RX2)の「dynabook SS RXシリーズ」を大きく引き離れた。

## デザイン

順位	メーカー名	シリーズ名	満足度 (購入後)
1	ソニー	VAIO type S シリーズ	54.3 ポイント
2	レノボ	ThinkPad X シリーズ	53.5 ポイント
3	パナソニック	Let'snote W シリーズ	52.3 ポイント
4	東芝	dynabook SS RX シリーズ	46.5 ポイント
5	富士通	FMV-BIBLO MG シリーズ	28.8 ポイント

全体的に評価は高いが、購入後の満足度で54.3ポイント、購入決定時には78.0ポイントと極めて高い評価を得た「VAIO type S」がトップとなった。

## 発熱の少なさ

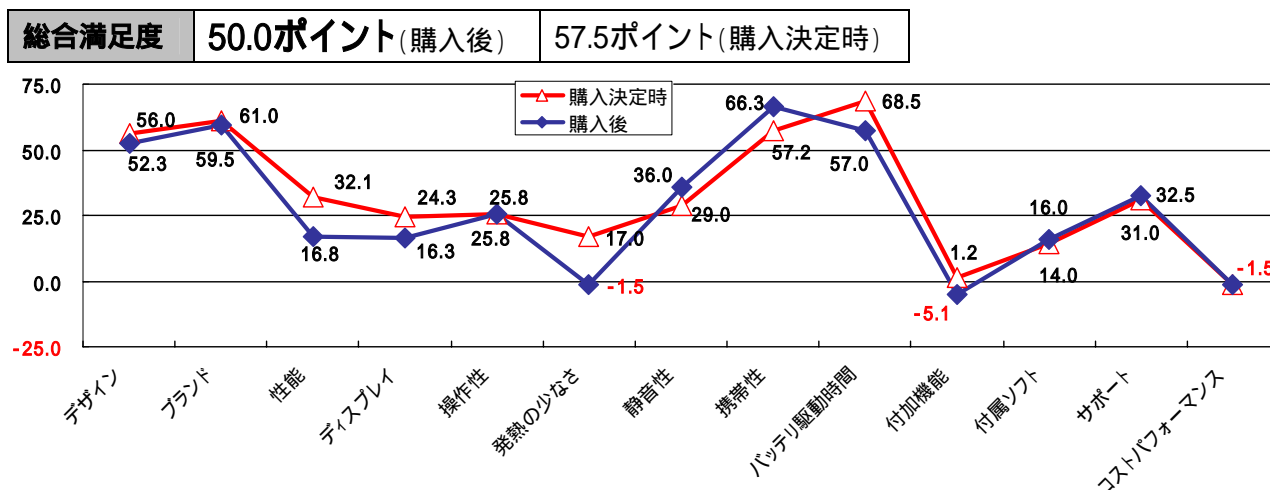
順位	メーカー名	シリーズ名	満足度 (購入後)
1	レノボ	ThinkPad X シリーズ	0.0 ポイント
2	パナソニック	Let'snote W シリーズ	-1.5 ポイント
3	東芝	dynabook SS RX シリーズ	-3.5 ポイント
4	ソニー	VAIO type S シリーズ	-12.5 ポイント
5	富士通	FMV-BIBLO MG シリーズ	-22.0 ポイント

総じて評価は厳しい。1位の「ThinkPad Xシリーズ」でもようやく0ポイント。他はすべてマイナス評価となった。

## 各シリーズの詳細な満足度

### [1位] パナソニック「Let'snote Wシリーズ」

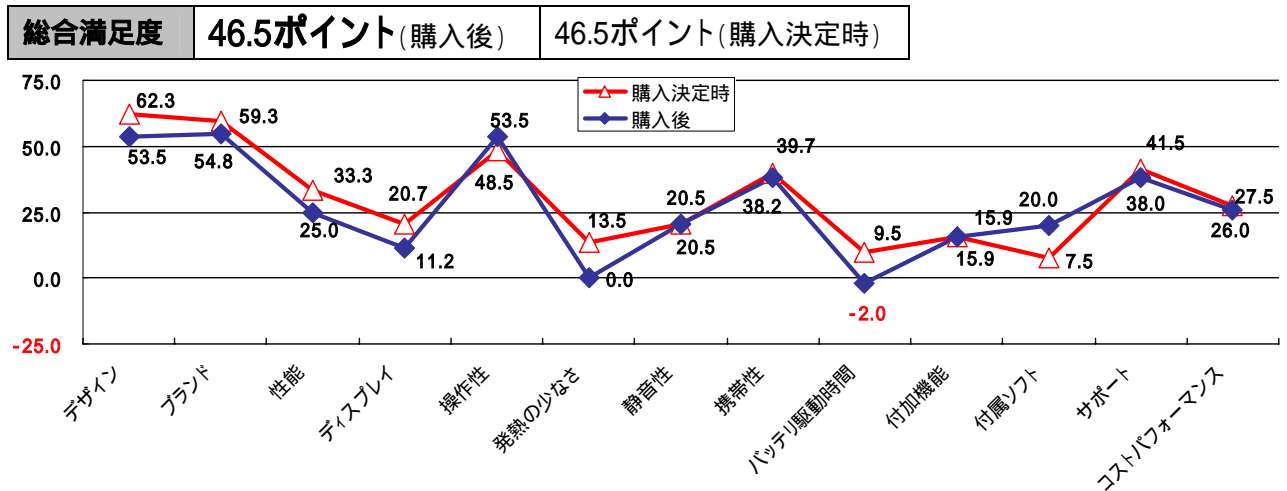
#### 携帯性とバッテリー駆動時間で群を抜いた高評価



携帯性(本体サイズ・重量など)、バッテリー駆動時間への満足度が非常に高い。特に携帯性については、購入決定時の満足度が57.2ポイントに対して、購入後は66.3ポイントとさらに約9ポイント上回っており、実際に使用してみて日常の持ち運びに十分なサイズ・重量だったことがわかる。「バッテリーの持ち、重量、光学ドライブ付きなど非常に満足」(34歳男性)、「軽量・小型・堅牢に満足」(50歳男性)と、個別のコメントでも高評価だった。一方で、画面の解像度・液晶の鮮やかさの点から「DVD観賞には向かない」(34歳男性)、また後部ほど分厚くなる本体形状については「厚さが均一なのが理想」(42歳男性)といったコメントもあった。

## [2位] レノボ・ジャパン「ThinkPad Xシリーズ」

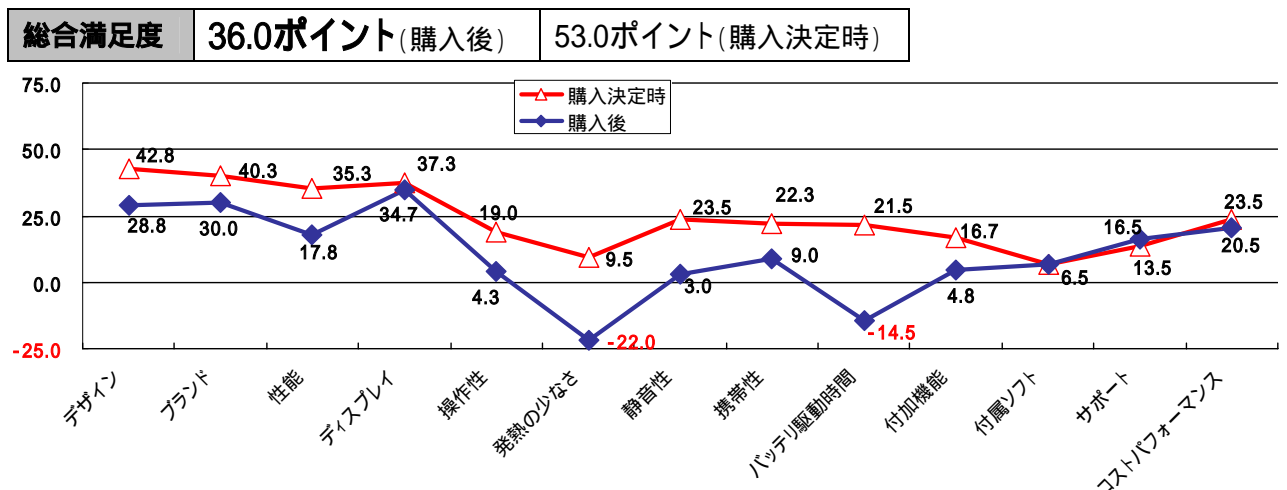
### 操作性・サポートはトップ、総合満足度も購入後の下落ナシ



操作性(キーボード・ポインティングデバイス)への満足度が、上位5シリーズのなかで群を抜いて高い。デザインや携帯性といった面でも評価は高く、サポートへの満足度も5シリーズ中トップだった。ThinkPad X61やX60など、同じXシリーズでも1~2世代前の機種ユーザーからは、「標準バッテリーでは駆動時間が短いため、大容量のバッテリーが必須」(49歳男性)といった意見もあったが、最新の「ThinkPad X200」シリーズではカタログ値で7時間駆動(6セルバッテリー搭載モデル)にまで伸びている。上位5シリーズ中で唯一、購入後の総合満足度が購入決定時から下がっておらず、ユーザーは期待通りの満足度を得られている。

## [3位] 富士通「FMV-BIBLO MGシリーズ」

### ゆとりある画面サイズで、各項目とも平均的な満足度

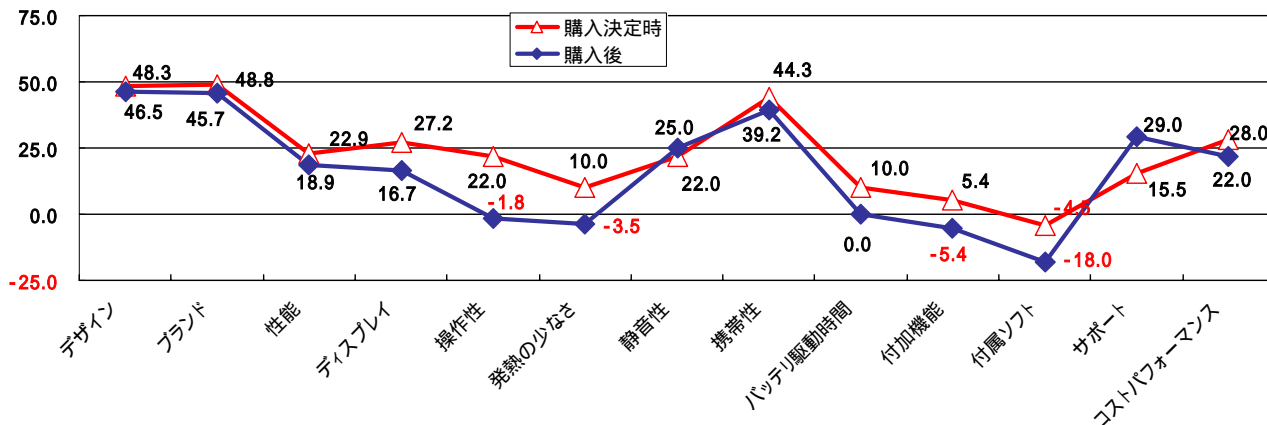


画面サイズが13.3型で、12.1型のLet'snote WシリーズやThinkPad Xシリーズよりも筐体が大いいためか、携帯性の評価はやや厳しい。だが、その画面の大きさもあって、ディスプレイについての満足度は高い。性能面については、「思ったよりさくさく動くので満足している」(43歳男性)、「かなりパワー不足を感じ、あまり重たい作業はできない」(35歳男性)など、評価の分かれるところ。ただ、「発熱が大きく、排気音も大きい」(49歳男性)と、発熱についての言及は少なからずあり、満足度の数値にもそれが表れている。

#### [4位] 東芝「dynabook SS RXシリーズ」

### 900gを切る軽さで、携帯性に高い満足

総合満足度	33.5ポイント(購入後)	56.5ポイント(購入決定時)
-------	---------------	-----------------

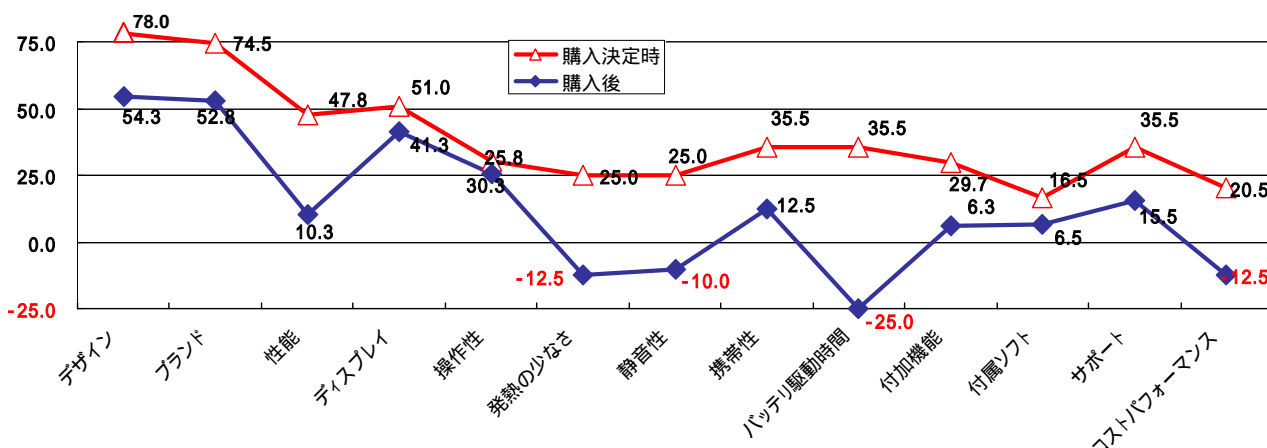


DVDドライブ・SSDを内蔵して900gを切る軽量マシンで、「軽量であることが最大の満足点」(38歳男性)など、携帯性への満足度はLet'snote Wiに次いで高い評価を得た。静音性やサポートについての満足度も高い。反面、その薄さへの追求のためか、DVDドライブの下にPCカードスロットが位置しているため、「通信カードを挿すとDVDのトレイが開かない」(49歳男性)。またバッテリー駆動時間について、カタログ値では最長12.5時間(SS RX2でバッテリーパック63A使用時)だが、「計測の際の設定が非現実的」(30歳男性)という厳しい指摘もあった。

#### [5位] ソニー「VAIO type Sシリーズ」

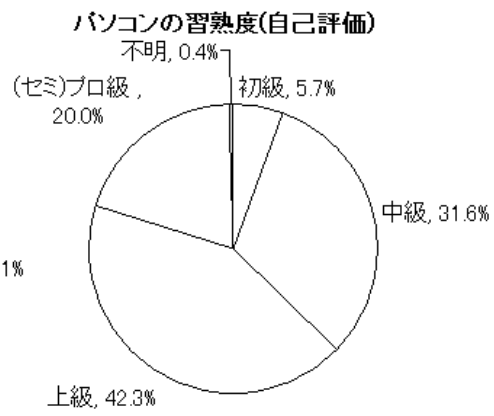
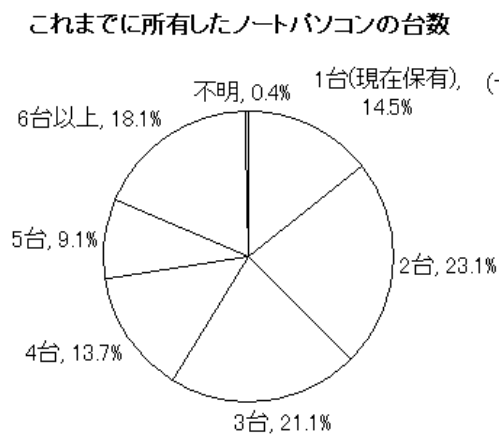
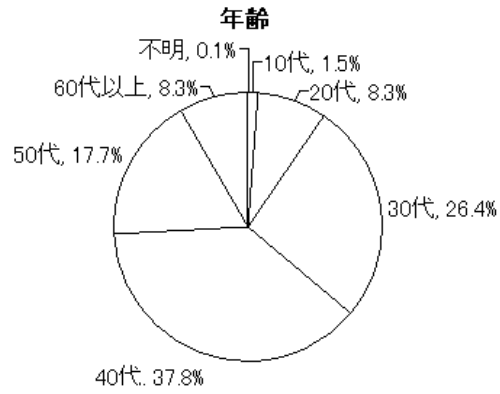
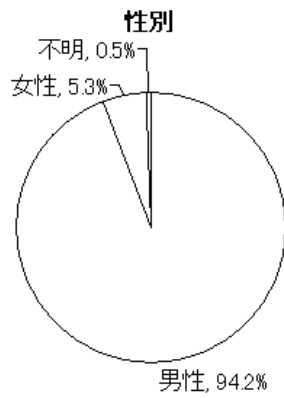
### デザイン・ディスプレイの満足度は5シリーズ中トップ

総合満足度	28.0ポイント(購入後)	56.0ポイント(購入決定時)
-------	---------------	-----------------

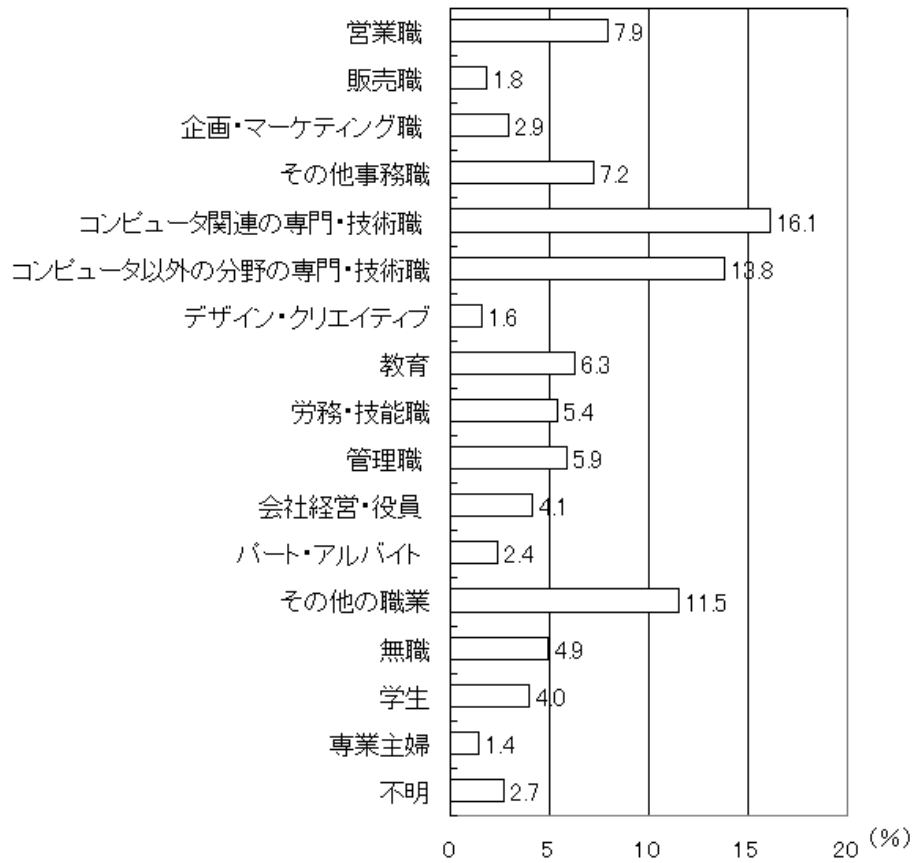


ディスプレイの満足度は5シリーズ中トップ。デザイン・ブランドについての満足度は、購入決定時に70ポイントを超え、購入後はやや下がっているがそれでも50ポイント超と、ユーザーは十分な満足感を得ている。「持ち運べるサイズでありながら、CPU、ビデオチップが充実」(29歳男性)して満足というコメントもあった。だがその一方で、「発熱が大きい」(46歳男性)、「時々反応速度が遅くなる」(53歳男性)などといった意見もあり、購入決定時に比べて購入後の満足度が全般的に下落する結果となっている。

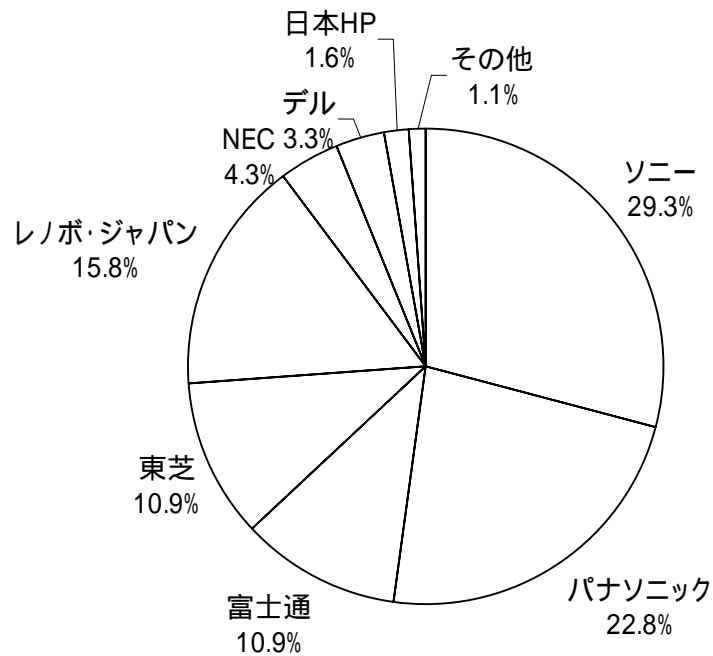
## 調査対象者プロフィール



### 職業



### 現在利用しているモバイルノートパソコンのメーカー別比率



**【アスキー総合研究所】** URL:<http://research.ascii.jp/>

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。コンテンツ、カルチャー、およびWeb、PC、携帯電話などによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒160-8326 東京都新宿区西新宿4-34-7 住友不動産西新宿ビル5号館  
株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338

**【株式会社アスキー・メディアワークス】** URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という2つのブランドを軸として、(Entertainment) (Business) (Culture) という3つの事業領域にコンテンツを発信しています。

2008年4月、株式会社アスキーと株式会社メディアワークスが合併いたしました。

**【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社アスキー・メディアワークス  
アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338